

基本計画書

基本計画										
事項	記入欄									備考
計画の区分	研究科の設置									
フリガナ設置者	コクリツカクイカクシケン フクイケンリツカクイカク 公立大学法人 福井県立大学									
フリガナ大学の名称	フクイケンリツカクイカクカクイン 福井県立大学大学院 (Graduate School of Fukui Prefectural University)									
大学本部の位置	福井県吉田郡永平寺町松岡兼定島4-1-1									
大学の目的	<p>本学は、教育基本法および学校教育法の精神にのっとり、時代の進展に即応して学術文化の高度化を推進し、および自主的な真理探究の精神と広い視野を有し、かつ、豊かな想像力と高度の知識・技術に基づく実践力に富む人材を養成するとともに、学術情報を地域社会へ開放することにより、福井県はもとより我が国の産業と文化の発展に寄与することを目的とし、もって人類の永続的福祉の向上に貢献することを使命とする。</p>									
新設学部等の目的	<p>社会の多様化、人口減少、超少子高齢化において、人々は様々な健康上の課題や生活上の課題に直面し、個人・世帯レベルから家族・自治体、国・都道府県レベルまでの対策が求められている。本研究科では看護学と社会福祉学が融合し、健康から生活までの課題に対して領域横断的に「健康生活科学」研究を行う。本研究科の目的は、「ウエル・ビーイング（健康と幸福）に向けた共生社会」をめざすことにある。</p>									
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地		<p>【基礎となる学部】 看護福祉学部 看護福祉学科、 社会福祉学科</p> <p>看護福祉学研究科 看護学専攻 （修士課程）、 社会福祉学専攻 （修士課程）</p> <p>14条特例の実施</p>
	健康生活科学研究科 [Graduate School of Health and Human Life Sciences]	年	人	年次人	人		年月 第1年次	福井県吉田郡永平寺町松岡兼定島4-1-1		
	健康生活科学専攻 (D) [Major in Health and Human Life Sciences]	3	3	—	9	博士 (健康生活科学) 【Doctor of Health and Human Life Sciences】	令和5年4月 第1年次			
計			3	—	9					
同一設置者内における変更状況 (定員の移行、名称の変更等)	令和5年4月の健康生活科学研究科健康生活科学専攻（博士後期課程）の設置にあわせ、看護福祉学研究科 看護学専攻（修士課程）および社会福祉学専攻（修士課程）を博士前期課程と改称する。									
教育課程	新設学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数				
	健康生活科学研究科 健康生活科学専攻	講義	演習	実験・実習	計	16単位				
		4科目	6科目	1科目	10科目					
教員	学部等の名称			専任教員等					兼任 教員等	
				教授	准教授	講師	助教	計		助手
	新設	健康生活科学研究科健康生活科学専攻（博士後期課程）	10人 (10)	5人 (5)	1人 (1)	1人 (1)	17人 (17)	人 ()	2人 (2)	
		計	10 (10)	5 (5)	1 (1)	1 (1)	17 (17)	人 ()	2 (2)	
	既組	看護福祉学研究科看護学専攻（修士課程）	8 (8)	6 (6)	0 ()	0 ()	14 (14)	人 ()	8 (8)	
		看護福祉学研究科社会福祉学専攻（修士課程）	8 (8)	6 (6)	0 ()	0 ()	14 (14)	人 ()	8 (8)	
経済経営学研究科地域・国際経済政策専攻（博士前期課程）		9 (9)	0 ()	0 ()	0 ()	9 (9)	人 ()	1 (1)		
織	経済経営学研究科経営学専攻（博士前期課程）	6 (6)	1 (1)	0 ()	0 ()	7 (7)	人 ()	0 ()		
	生物資源学研究科生物資源学専攻（博士前期課程）	10 (10)	10 (10)	0 ()	0 ()	20 (20)	人 ()	3 (3)		

設 分	生物資源学研究所海洋生物資源学専攻（博士前期課程）	11 (11)	13 (13)	()	()	24 (24)	()	()	
	経済経営学研究所経済研究専攻（博士後期課程）	15 (15)	1 (1)	()	()	16 (16)	()	()	
	生物資源学研究所生物資源学専攻（博士後期課程）	10 (10)	10 (10)	()	()	20 (20)	()	3 (3)	
	生物資源学研究所海洋生物資源学専攻（博士後期課程）	11 (11)	13 (13)	()	()	24 (24)	()	()	
		()	()	()	()	()	()	()	
	計	52 (52)	36 (36)	()	()	88 (88)	()	12 (12)	
合 計		52 (52)	36 (36)	()	()	88 (88)	()	14 (14)	
教員以外の職員の概要	職 種	専 任		兼 任		計			
	事 務 職 員	38 (38) 人		47 (47) 人		85 (85) 人			
	技 術 職 員	3 (3)		()		3 (3)			
	図 書 館 専 門 職 員	2 (2)		2 (2)		4 (4)			
	そ の 他 の 職 員	()		7 (7)		7 (7)			
	計	43 (43)		52 (52)		95 (95)			
校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用		計			
	校 舎 敷 地	31,286.50 m ²	—	—		31,286.50 m ²			
	運 動 場 用 地	55,570.00 m ²	—	—		55,570.00 m ²			
	小 計	86,856.50 m ²	—	—		86,856.50 m ²			
	そ の 他	382,804.24 m ²	—	—		382,804.24 m ²			
	合 計	469,660.74 m ²	—	—		469,660.74 m ²			
校 舎	専 用	47,381.91 m ² (47,381.91 m ²)	— (— m ²)	— (— m ²)		47,381.91 m ² (47,381.91 m ²)			
	共 用	—	—	—		—			
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設		語学学習施設			
	34室	37室	78室	911室 (補助職員一人)		1室 (補助職員1人)			
専 任 教 員 研 究 室		新設学部等の名称		室 数		18室			
		健康生活科学研究科健康生活科学専攻							
図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点		
	健康生活科学研究科 健康生活科学専攻	396,559 [73,278] (396,559 [73,278])	4,534 [1,056] (4,534 [1,056])	3,939 [3,939] (3,939 [3,939])	4,385 (4,385)	50 (10)	— (—)		
	計	396,559 [73,278] (396,559 [73,278])	4,534 [1,056] (4,534 [1,056])	3,939 [3,939] (3,939 [3,939])	4,385 (4,385)	50 (10)	— (—)		
図 書 館	面積	4,462 m ²		閲覧座席数	271		収 納 可 能 冊 数		
							398,361		
体 育 館	面積	4575.75 m ²		体育館以外のスポーツ施設の概要					
				野球場 1面		テニスコート6面			
経 費 の 見 積 り 及 び 維 持 方 法 の 概 要	経 費 の 見 積 り	区 分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次
		教員1人当り研究費等		1,200千円	1,200千円	1,200千円	—	—	—
		共同研究費等		900千円	900千円	900千円	—	—	—
		図書購入費	22,890千円	22,890千円	22,890千円	22,890千円	—	—	—
	設備購入費	1,850千円	1,850千円	1,850千円	1,850千円	—	—	—	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	県内 724千円 県外 818千円	536千円	536千円	千円	千円	千円			
学生納付金以外の維持方法の概要			福井県からの運営費交付金、雑収入						

既設大学等の状況	大学の名称		福井県立大学						
	学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
		年	人	年次人	人		倍		
既設大学等の状況	経済学部						1.07		
	経済学科	4	100	—	400	学士（経済学）	1.06	平成4年度	福井県吉田郡永平寺町 松岡兼定島4-1-1
	経営学科	4	100	—	400	学士（経営学）	1.09	平成4年度	〃
	生物資源学部						1.10		
	生物資源学科	4	45	—	180	学士（生物資源学）	1.09	平成4年度	〃
	創造農学科	4	25	3年次 5人	110	学士（生物資源学）	1.12	令和2年度	福井県あわら市 二面88-1
	海洋生物資源学部						1.07		
	海洋生物資源学科	4	50	—	200	学士（海洋生物資源学）	1.07	平成21年度	福井県小浜市 学園町1-1
	先端増養殖科学科	4	30	—	120	学士（海洋生物資源学）	—	令和4年度	福井県小浜市 堅海49-8-2
	看護福祉学部						1.06		
看護学科	4	50	—	200	学士（看護学）	1.06	平成9年度	福井県吉田郡永平寺町 松岡兼定島4-1-1	
社会福祉学科	4	30	—	120	学士（社会福祉学）	1.08	平成9年度	〃	
既設大学等の状況	大学院								
	経済経営学研究科								
	博士前期課程								
	地域・国際経済政策 専攻	2	12	—	24	修士（経済学）	0.12	平成8年度	福井県吉田郡永平寺町 松岡兼定島4-1-1
	経営学専攻	2	12	—	24	修士（経営学）	0.54	平成18年度	〃
	博士後期課程								
	経済研究専攻	3	4	—	12	博士（経済学）	0.33	平成10年度	〃
	生物資源学研究科								
	博士前期課程								
	生物資源学専攻	2	12	—	24	修士（生物資源学）	0.99	平成8年度	福井県吉田郡永平寺町 松岡兼定島4-1-1
	海洋生物資源学専攻	2	12	—	24	〃	0.66	平成8年度	福井県小浜市 学園町1-1
	博士後期課程								
	生物資源学専攻	3	4	—	12	博士（生物資源学）	0.66	平成10年度	福井県吉田郡永平寺町 松岡兼定島4-1-1
海洋生物資源学専攻	3	4	—	12	〃	0.33	平成10年度	福井県小浜市 学園町1-1	
看護福祉学研究科									
修士課程									
看護学専攻	2	10	—	20	修士（看護学）	0.15	平成15年度	福井県吉田郡永平寺町 松岡兼定島4-1-1	
社会福祉学専攻	2	6	—	12	修士（社会福祉学）	0.41	平成15年度	〃	
附属施設の概要									

教 育 課 程 等 の 概 要

(健康生活科学研究科健康生活科学専攻)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	健康生活科学特論	1前	2			○			4						オムニバス
	研究倫理特論	1前	2			○			2	1					オムニバス
	小計 (2科目)	—	4	0	0	—			5	1	0	0	0	0	—
専門科目	健康基礎科学領域	健康科学特論	1前	2			○			3	1				兼1 オムニバス
		看護実践開発演習	1通		4			○		1	2				兼1 オムニバス・共同(一部)
		健康バイオマーカー演習	1通		4			○	○	4					オムニバス
	小計 (3科目)	—	2	8	0	—			6	2	0	0	0	兼2 —	
	健康生活探究領域	健康福祉学特論	1前	2			○			4					オムニバス
		保健医療福祉演習	1通		4			○		4	2				オムニバス・共同(一部)
		地域包括ケア演習	1通		4			○			1	1	1		オムニバス・共同(一部)
小計 (3科目)	—	2	8	0	—			4	3	1	1	0	0	—	
特別研究科目	健康基礎科学領域	健康基礎科学特別研究	1~3通	6				○		6	2				
		小計 (1科目)	—	6	0	0	—			6	2	0	0	0	0
	健康生活探究領域	健康生活探究特別研究	1~3通	6				○		4	2				
		小計 (1科目)	—	6	0	0	—			4	2	0	0	0	0
合計 (10科目)		—	20	16	0	—			10	5	1	1	0	兼2	—
学位又は称号	博士 (健康生活科学)		学位又は学科の分野			保健衛生学関係 (看護学関係)									
卒業要件及び履修方法						授業期間等									
両領域とも、共通科目必修4単位、専門科目必修2単位、専門科目選択科目から4単位、特別研究科目6単位、16単位以上修得すること。						1学年の学期区分			2学期						
						1学期の授業期間			15週						
						1時限の授業時間			90分						

教 育 課 程 等 の 概 要

(看護福祉学研究科 看護学専攻)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	精神健康学特論	1		2											休講
	環境保健学特論	1後		2		○			2						
	保健・福祉研究方法論	1前		2		○								兼2	
	コミュニケーション特論	1		2											休講
	小計(4科目)	—	0	8	0			—	2	0	0	0	0	兼2	—
看護学専攻 共通科目	看護理論	1前		2		○			1	1					オムニバス
	看護教育論	1後		2		○			1						
	看護研究方法論	1前		2		○			1					兼1	
	看護政策論	1		2											休講
	看護倫理学	1後		2		○			1						
	看護管理論	1		2		○								兼2	オムニバス
	小計(6科目)	—	0	12	0			—	4	1	0	0	0	兼3	—
専攻 科目	看護マネジメント学特論	1前	4			○			1					兼3	オムニバス
	看護マネジメント学演習	1後	2					○						兼1	
	看護マネジメント学特別研究	2通	10					○						兼1	
	基礎看護学特論	1前	4			○			1						
	基礎看護学演習	1後	2					○	1						
	基礎看護学特別研究	2通	10					○	1						
	成人看護学特論	1前	4			○			1	2					
	成人看護学演習	1後	2					○	1						
	成人看護学特別研究	2通	10					○	1						
	老年看護学特論	1前	4			○			1						
	老年看護学演習	1後	2					○	1						
	老年看護学特別研究	2通	10					○	1						
	母子看護・保健学特論Ⅰ	1前	4			○			1						
	母子看護学演習Ⅰ	1後	2					○	1						
	母子看護学特別研究(母性看護学)	2通	10					○	1						
	母子看護・保健学特論Ⅱ	1前	4			○				1					
	母子看護学演習Ⅱ	1後	2					○		1					
	母子看護学特別研究(小児看護学)	2通	10					○		1					
精神看護学特論	1前	4			○				1						
精神看護学演習	1後	2					○	1	1						
精神看護学特別研究	2通	10					○	1	1						
在宅看護学特論	1前	4			○				1						
在宅看護学演習	1後	2					○		1						
在宅看護学特別研究	2通	10					○		1						

専攻科目	公衆衛生看護学特論	1前	4			○			1	1						
	公衆衛生看護学演習	1後	2				○		1	1						
	公衆衛生看護学特別研究	2通	10				○		1	1						
	成人・老年保健学特論	1前		4		○			1							
	成人・老年保健学演習	1後		2			○		1							
	養護概説特論	1前		2		○										兼1
養護概説演習	1後		2			○									兼1	
	小計（31科目）	—	144	10	0	—			8	6	0	0	0	0	兼4	—
経済・経営科学研究科の授	経済理論	1前		2		○									兼1	
	日本経済史特論	1		2												休講
	ワークショップ（地方行政論）	1		2												休講
	現代企業論	1		2												休講
	人的資源管理特論	1前		2		○									兼1	
	小計（5科目）	—	0	10	0	—			0	0	0	0	0	0	兼2	—
合計（46科目）		—	144	40	0	—			8	6	0	0	0	0	兼8	—
学位又は称号		修士（看護学）			学位又は学科の分野			保健衛生学関係（看護学）								
卒業要件及び履修方法								授業期間等								
(修了要件) 本研究科に2年以上在学し、当該期間中に30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査および試験に合格しなければならない。 (履修方法) 専攻する看護学の特論、演習および特別研究16単位を含む30単位以上修得する。								1学年の学期区分			2学期					
								1学期の授業期間			15週					
								1時限の授業時間			90分					

教 育 課 程 等 の 概 要

(看護福祉学研究科 社会福祉学専攻)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通科目	精神健康学特論	1		2											休講
	環境保健学特論	1後		2			○							兼2	
	保健・福祉研究方法論	1前		2			○		2						
	コミュニケーション特論	1		2											休講
	小計(4科目)	—	0	8	0			—	2	0	0	0	0	兼2	—
専攻科目	社会福祉学特論	1前	2				○			1					
	社会福祉学演習	2通	2					○		1					
	修士論文指導	2通	8					○		1					
	社会政策特論	1後	2				○		1						
	社会政策演習	2通	2					○	1						
	修士論文指導	2通	8					○	1						
	社会保障特論	1後	2				○			1					
	社会保障演習	2通	2					○		1					
	修士論文指導	2通	8					○		1					
	社会福祉援助特論(個別)	1前	2				○		1						
	社会福祉援助演習(個別)	2通	2					○	1						
	修士論文指導	2通	8					○	1						
	社会福祉援助特論(集団)	1	2												休講
	社会福祉援助演習(集団)	2	2												休講
	修士論文指導	2	8												休講
	社会福祉援助特論(地域)	1後	2				○		1						
	社会福祉援助演習(地域)	2通	2					○	1						
	修士論文指導	2通	8					○	1						
	社会調査特論	1後	2				○		1						
	社会調査演習	2通	2					○	1						
	修士論文指導	2通	8					○	1						
	精神保健福祉特論	1後	2				○			1					
	精神保健福祉演習	2通	2					○		1					
	修士論文指導	2通	8					○		1					
精神保健学特論	1前	2				○		1							
精神保健学演習	2通	2					○	1							
修士論文指導	2通	8					○	1							
児童・家庭福祉特論	1前	2				○		1							
児童・家庭福祉演習	2通	2					○	1							
修士論文指導	2通	8					○	1							

専攻科目	高齢者福祉特論	1前	2			○			1							
	高齢者福祉演習	2通	2				○		1							
	修士論文指導	2通	8				○		1							
	障害者福祉特論	1前	2			○				1						
	障害者福祉演習	2通	2				○			1						
	修士論文指導	2通	8				○			1						
	権利擁護特論	1後	2			○				1						
	権利擁護演習	2通	2				○			1						
	修士論文指導	2通	8				○			1						
	社会福祉管理・経営特論	1後		2			○									兼1
	社会福祉環境特論	1前		2			○									兼1
	学校ソーシャルワーク特論	1前		2			○									兼1
	福祉教育特論	1前		2			○									兼1
	国際福祉特論	1前		2			○				1					
小計 (44科目)	—	156	10	0		—			7	6	0	0	0		兼4	—
経済・経営学 目 研究 科 の 授	経済理論	1前		2		○										兼1
	日本経済史特論	1		2												休講
	ワークショップ (地方行政論)	1		2												休講
	現代企業論	1		2												休講
	人的資源管理特論	1前		2		○										兼1
	小計 (5科目)	—	0	10	0		—			0	0	0	0	0		兼2
合計 (53科目)		—	156	28	0		—		8	6	0	0	0		兼8	—
学位又は称号		修士 (社会福祉学)			学位又は学科の分野			社会福祉学関係								
卒業要件及び履修方法							授業期間等									
(修了要件) 本研究科に2年以上在学し、当該期間中に30単位以上を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査および試験に合格しなければならない。 (履修方法) 「修士論文指導」とそれに直結する「特論」、「演習」の12単位及び共通科目4単位を含む30単位以上を修得する。							1学年の学期区分			2学期						
							1学期の授業期間			15週						
							1時限の授業時間			90分						

教育課程等の概要															
(看護福祉学部 看護学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
一般教育科目	I ゼミ	導入ゼミ	1前	1				○							兼27
		教養ゼミ	1後		1			○							兼17
	II 外国語	英語 I	1通	1				○							兼5
		英語 II a	1・2		1			○							兼23
		英語 II b	1・2		1			○							
		中国語 I	1前		1+1			○							兼4 週2コマ連結授業
		中国語 II	1後		1+1			○							兼4 週2コマ連結授業
		中国語 III a	2・3・4		1			○							兼1
		中国語 III b	2・3・4		1			○							兼1
		中国語 IV a	2・3・4		1			○							兼1
		中国語 IV b	2・3・4		1			○							兼1
		韓国朝鮮語 I	1前		1+1				○						兼1 週2コマ連結授業
		韓国朝鮮語 II	1後		1+1				○						兼1 週2コマ連結授業
		ドイツ語 I	1前		1+1				○						兼1 週2コマ連結授業
		ドイツ語 II	1後		1+1				○						兼1 週2コマ連結授業
		フランス語 I	1前		1+1				○						兼1 週2コマ連結授業
		フランス語 II	1後		1+1				○						兼1 週2コマ連結授業
		ロシア語 I	1前		1+1				○						兼2 週2コマ連結授業
		ロシア語 II	1後		1+1				○						兼2 週2コマ連結授業
		外国語特講A	1・2・3		1				○						兼1 隔年開講
		外国語特講B	1・2・3		1				○						兼1 隔年開講
		外国語特講C	1・2・3		1				○						兼1 隔年開講
	外国語特講D	1・2・3		1				○						兼1 隔年開講	
	外国語特講E	1・2・3		1+1				○						兼1 3年に1回開講 週2コマ連結授業	
	外国語特講F	1・2・3		1+1				○						兼1 3年に1回開講 週2コマ連結授業	
	海外語学研修(英語)	2・3・4休		2				○						兼3 集中講義	
	海外語学研修(中国語)	2・3・4休		2				○						兼1 集中講義	
	III 体育	体育実技 I	1通	1					○						兼7
		体育実技 II	1通		1				○						兼6
		体育実技 III	1休		1				○						兼3 集中講義
	IV 情報	情報基礎演習	1前		1				○						兼6
		情報処理基礎演習	1・2・3・4		1				○						兼3
		統計処理演習	1・2・3・4		1				○						兼1
情報科学 I		1後	1				○							兼4	
	情報科学 II	2・3・4		1			○							兼1	
V 語日本	基礎日本語 I	1前		1			○							兼1	
	基礎日本語 II	1後		1			○							兼1	
	小計(37科目)		4	47	0		-							兼69	
一般教育科目	自由科目 A群	I 歴史と思想	哲学	1・2・3		2		○							兼1
			倫理学	1・2・3		2		○							兼1
			宗教学	1・2・3		2		○							兼1
			歴史学	1・2・3		2		○							兼1
			東洋思想	1・2・3		2		○							兼1
			西洋思想	1・2・3		2		○							兼1 隔年開講
			日本史	1・2・3		2		○							兼1
			東洋史	1・2・3		2		○							兼1
			西洋史	1・2・3		2		○							兼1
			イスラーム史	1・2・3		2		○							兼1
			科学史	1・2・3		2		○							兼1

教育課程等の概要															
(看護福祉学部 看護学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
一般教育科目	II 表現と言語文化	言語学	1・2・3		2		○								兼1 隔年開講
		文学概論	1・2・3		2		○								兼1
		国文学史	1・2・3		2		○								兼1
		国文学	1・2・3		2		○								兼1
		美学	1・2・3		2		○								兼1
		美術史	1・2・3		2		○								兼1
		芸術学	1・2・3		2		○								兼1
	III 現代の社会	社会学	1・2・3		2		○								兼1
		現代家族論	1・2・3		2		○								兼1 隔年開講
		政治学	1・2・3		2		○								兼1
		国際関係論	1・2・3		2		○								兼1 隔年開講
		国際政治学	1・2・3		2		○								兼1 隔年開講
		経済学	1・2・3		2		○								兼1
		法学	1・2・3休		2		○								兼1 集中講義
		日本国憲法	1・2・3		2		○								兼1
		現代人権論	1・2・3休		2		○								兼1 集中講義
		キャリア形成論	1・2・3		2		○								兼1
	観光学	1・2・3		2		○									
	国際社会と法	1・2・3		2		○								兼1	
	IV 世界の文化と社会	文化人類学	1・2・3		2		○								兼1
		地理学	1・2・3		2		○								兼1
		神話学	1・2・3		2		○								兼1
		比較文化論	1・2・3		2		○								兼13 オムニバス
		異文化理解	1・2・3		2		○								兼1
		東アジアの文化と社会	1・2・3		2		○								兼1
		東南アジアの文化と社会	1・2・3		2		○								兼1
		アフリカの文化と社会	1・2・3		2		○								兼1 隔年開講
	南米の社会と環境	1・2・3		2		○								兼1 隔年開講	
	V 福井と地域社会	日本の文化と社会	1・2・3		2		○								兼1
		福井の文化と社会	1・2・3		2		○								兼2 オムニバス
福井方言と標準語		1・2・3		2		○								兼1	
海と暮らし		1・2・3		2		○								兼15 オムニバス	
ボランティア論		1・2・3		2		○								兼1	
恐竜学		1・2・3		2		○								兼4 オムニバス	
福井を学ぶ		1・2・3		2		○								兼1	
地域社会とフィールドワークA		1・2・3休		2		○								兼1 集中講義 3年に1回開講	
地域社会とフィールドワークB	1・2・3休		2		○								兼1 集中講義 3年に1回開講		
V 福井と地域社会	地域社会とフィールドワークC	1・2・3休		2		○								兼1 集中講義 3年に1回開講	
	地域社会とフィールドワークD	1・2・3休		2		○								兼1 集中講義 3年に1回開講	
	地域社会とフィールドワークE	1・2・3休		2		○								兼1 集中講義 3年に1回開講	
	地域社会とフィールドワークF	1・2・3休		2		○								兼1 集中講義 3年に1回開講	
	地域特講A	1・2・3		2		○								兼1 3年に1回開講	
	地域特講B	1・2・3		2		○								兼1 3年に1回開講	
	地域特講C	1・2・3		2		○								兼1 3年に1回開講	
	地域特講D	1・2・3		2		○								兼1 3年に1回開講	
	地域特講E	1・2・3		2		○								兼1 3年に1回開講	
	地域特講F	1・2・3		2		○								兼1 3年に1回開講	

教 育 課 程 等 の 概 要

（看護福祉学部 看護学科）

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
一般 教育 科目	VI 健康と 人間	健康科学	1・2・3休		2		○								兼1	集中講義
		スポーツ科学	1・2・3		2		○								兼2	オムニバス
		心理学	1・2・3		2		○								兼1	
		行動科学	1・2・3		2		○								兼1	
		人間関係論	1・2・3		2		○								兼1	
		ジェンダー論	1・2・3		2		○								兼1	
		福祉国家論	1・2・3		2		○								兼1	
	認知科学	1・2・3		2		○								兼1	隔年開講	
	VII 自然と 環境	環境論	1・2・3		2		○								兼1	
		現代の科学	1・2・3		2		○								兼1	
		宇宙科学	1・2・3		2		○								兼1	
		地球科学	1・2・3休		2		○								兼1	集中講義
		生物科学	1・2・3		2		○								兼1	
		技術の世界	1・2・3		2		○								兼1	隔年開講
		複雑系科学	1・2・3		2		○								兼1	
	生態学	1・2・3		2		○								兼1	隔年開講	
	コケの世界	1・2・3		2		○								兼1	隔年開講	
	VIII 情報と 数理	解析学	1・2・3		2		○								兼1	
		代数学	1・2・3		2		○								兼1	
		統計学基礎	1・2・3		2		○								兼1	
		物理学I	1・2・3		2		○								兼1	
物理学II		1・2・3		2		○								兼1		
数学基礎		1・2・3		2		○								兼1		
メディア情報処理概論	1・2・3		2		○								兼1			
IX 教養特 講	教養特講A	1・2・3		2		○								兼1	隔年開講	
	教養特講B	1・2・3		2		○								兼1	隔年開講	
	教養特講C	1・2・3		2		○								兼1	隔年開講	
	教養特講D	1・2・3		2		○								兼1	隔年開講	
	教養特講E	1・2・3		2		○								兼1	隔年開講	
	教養特講F	1・2・3		2		○								兼1	隔年開講	
	教養特講G	1・2・3		2		○								兼1	隔年開講	
	教養特講H	1・2・3		2		○								兼1	隔年開講	
	教養特講I	1・2・3		2		○								兼1	隔年開講	
	教養特講J	1・2・3		2		○								兼1	隔年開講	
	教養特講K	1・2・3		2		○								兼1	隔年開講	
教養特講L	1・2・3		2		○								兼1	隔年開講		

教育課程等の概要															
(看護福祉学部 看護学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
一般教育科目	A群 X発展自由科目	哲学特殊講義	2・3・4		2		○								兼1 3年に1回開講
		国文学特殊講義	2・3・4		2		○								兼1 3年に1回開講
		芸術学特殊講義	2・3・4		2		○								兼1 3年に1回開講
		社会学特殊講義	2・3・4		2		○								兼1 3年に1回開講
		政治学特殊講義	2・3・4		2		○								兼1 3年に1回開講
		文化人類学特殊講義	2・3・4		2		○								兼1 3年に1回開講
		人間関係論特殊講義	2・3・4		2		○								兼1 3年に1回開講
		歴史学特殊講義	2・3・4		2		○								兼1 3年に1回開講
		生態学特殊講義	2・3・4		2		○								兼1 3年に1回開講
		東洋学特殊講義	2・3・4		2		○								兼1 3年に1回開講
		民族学特殊講義	2・3・4		2		○								兼1 3年に1回開講
		地域研究特殊講義	2・3・4		2		○								兼1 3年に1回開講
		法学特殊講義	2・3・4		2		○								兼1 3年に1回開講
		教養の最前線A	2・3・4		2		○								兼1 3年に1回開講
		教養の最前線B	2・3・4		2		○								兼1 3年に1回開講
		教養の最前線C	2・3・4		2		○								兼1 3年に1回開講
		教養の最前線D	2・3・4		2		○								兼1 3年に1回開講
		教養の最前線E	2・3・4		2		○								兼1 3年に1回開講
	教養の最前線F	2・3・4		2		○								兼1 3年に1回開講	
	B群 自由科目	言語文化(中国)A	2・3・4		2		○								兼1 隔年開講
		言語文化(中国)B	2・3・4		2		○								兼1 隔年開講
		言語文化(中国)C	2・3・4		2		○								兼1 隔年開講
		言語文化(中国)D	2・3・4		2		○								兼1 隔年開講
		言語文化(韓国朝鮮)A	2・3・4		2		○								兼1 隔年開講
		言語文化(韓国朝鮮)B	2・3・4		2		○								兼1 隔年開講
		言語文化(ドイツ)A	2・3・4		2		○								兼1 隔年開講
		言語文化(ドイツ)B	2・3・4		2		○								兼1 隔年開講
		言語文化(フランス)A	2・3・4		2		○								兼1 隔年開講
		言語文化(フランス)B	2・3・4		2		○								兼1 隔年開講
		言語文化(ロシア)A	2・3・4		2		○								兼1 隔年開講
		言語文化(ロシア)B	2・3・4		2		○								兼1 隔年開講
		運動処方論	2後		2		○								兼1
		情報処理A	1・2・3・4		2		○								兼1
		情報処理B	1・2・3・4		2		○								兼1
		情報処理C	1・2・3・4		2		○								兼1
		情報処理D	1・2・3・4		2		○								兼1
		情報処理E	1・2・3・4		2		○								兼1
	プログラミングA	1・2・3・4		2		○								兼1 3年に1回開講	
	プログラミングB	1・2・3・4		2		○								兼1 3年に1回開講	
	プログラミングC	1・2・3・4		2		○								兼1 3年に1回開講	
	プログラミングD	1・2・3・4		2		○								兼1 3年に1回開講	
	プログラミングE	1・2・3・4		2		○								兼1 3年に1回開講	
	C群	学術ゼミ(哲学) A	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(哲学) B	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(哲学) C	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(哲学) D	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(哲学) E	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(哲学) F	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
学術ゼミ(東洋) A	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講		

教 育 課 程 等 の 概 要

（看護福祉学部 看護学科）

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
一般 教育 科目	自由 科目 C 群	学術ゼミ(東洋) B	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(東洋) C	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(東洋) D	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(東洋) E	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(東洋) F	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(西洋史) A	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(西洋史) B	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(西洋史) C	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(西洋史) D	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(西洋史) E	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(西洋史) F	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(国文学) A	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(国文学) B	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(国文学) C	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(国文学) D	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(国文学) E	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(国文学) F	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(美学) A	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(美学) B	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(美学) C	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(美学) D	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(美学) E	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(美学) F	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(社会学) A	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(社会学) B	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(社会学) C	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(社会学) D	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(社会学) E	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(社会学) F	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(国際政治) A	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(国際政治) B	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(国際政治) C	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(国際政治) D	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(国際政治) E	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(国際政治) F	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(法学) A	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(法学) B	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(法学) C	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(法学) D	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(法学) E	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(法学) F	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(文化人類学) A	2・3・4		2			○							兼2 3年に1回開講
学術ゼミ(文化人類学) B	2・3・4		2			○							兼2 3年に1回開講		
学術ゼミ(文化人類学) C	2・3・4		2			○							兼2 3年に1回開講		
学術ゼミ(文化人類学) D	2・3・4		2			○							兼2 3年に1回開講		
学術ゼミ(文化人類学) E	2・3・4		2			○							兼2 3年に1回開講		
学術ゼミ(文化人類学) F	2・3・4		2			○							兼2 3年に1回開講		
学術ゼミ(発達心理) A	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講		
学術ゼミ(発達心理) B	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講		

教育課程等の概要														
(看護福祉学部 看護学科)														
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
一般教育科目 自由科目 C群	学術ゼミ(発達心理) C	2・3・4		2				○						兼1 3年に1回開講
	学術ゼミ(発達心理) D	2・3・4		2				○						兼1 3年に1回開講
	学術ゼミ(発達心理) E	2・3・4		2				○						兼1 3年に1回開講
	学術ゼミ(発達心理) F	2・3・4		2				○						兼1 3年に1回開講
	学術ゼミ(臨床心理) A	2・3・4		2				○						兼1 3年に1回開講
	学術ゼミ(臨床心理) B	2・3・4		2				○						兼1 3年に1回開講
	学術ゼミ(臨床心理) C	2・3・4		2				○						兼1 3年に1回開講
	学術ゼミ(臨床心理) D	2・3・4		2				○						兼1 3年に1回開講
	学術ゼミ(臨床心理) E	2・3・4		2				○						兼1 3年に1回開講
	学術ゼミ(臨床心理) F	2・3・4		2				○						兼1 3年に1回開講
	学術ゼミ(数理科学) A	2・3・4		2				○						兼1 3年に1回開講
	学術ゼミ(数理科学) B	2・3・4		2				○						兼1 3年に1回開講
	学術ゼミ(数理科学) C	2・3・4		2				○						兼1 3年に1回開講
	学術ゼミ(数理科学) D	2・3・4		2				○						兼1 3年に1回開講
	学術ゼミ(数理科学) E	2・3・4		2				○						兼1 3年に1回開講
	学術ゼミ(数理科学) F	2・3・4		2				○						兼1 3年に1回開講
	学術ゼミ(環境学) A	2・3・4		2				○						兼1 3年に1回開講
	学術ゼミ(環境学) B	2・3・4		2				○						兼1 3年に1回開講
	学術ゼミ(環境学) C	2・3・4		2				○						兼1 3年に1回開講
	学術ゼミ(環境学) D	2・3・4		2				○						兼1 3年に1回開講
	学術ゼミ(環境学) E	2・3・4		2				○						兼1 3年に1回開講
	学術ゼミ(環境学) F	2・3・4		2				○						兼1 3年に1回開講
	学術ゼミ(学習科学) A	2・3・4		2				○						兼1 3年に1回開講
	学術ゼミ(学習科学) B	2・3・4		2				○						兼1 3年に1回開講
	学術ゼミ(学習科学) C	2・3・4		2				○						兼1 3年に1回開講
	学術ゼミ(学習科学) D	2・3・4		2				○						兼1 3年に1回開講
	学術ゼミ(学習科学) E	2・3・4		2				○						兼1 3年に1回開講
	学術ゼミ(学習科学) F	2・3・4		2				○						兼1 3年に1回開講
	学術ゼミ(民族学) A	2・3・4		2				○						兼1 3年に1回開講
	学術ゼミ(民族学) B	2・3・4		2				○						兼1 3年に1回開講
	学術ゼミ(民族学) C	2・3・4		2				○						兼1 3年に1回開講
	学術ゼミ(民俗学) D	2・3・4		2				○						兼1 3年に1回開講
	学術ゼミ(民族学) E	2・3・4		2				○						兼1 3年に1回開講
	学術ゼミ(民族学) F	2・3・4		2				○						兼1 3年に1回開講
	学術ゼミ(地域研究) A	2・3・4		2				○						兼1 3年に1回開講
	学術ゼミ(地域研究) B	2・3・4		2				○						兼1 3年に1回開講
	学術ゼミ(地域研究) C	2・3・4		2				○						兼1 3年に1回開講
	学術ゼミ(地域研究) D	2・3・4		2				○						兼1 3年に1回開講
	学術ゼミ(地域研究) E	2・3・4		2				○						兼1 3年に1回開講
	学術ゼミ(地域研究) F	2・3・4		2				○						兼1 3年に1回開講
	英語特論 I A	2・3・4		2				○						兼1 3年に1回開講
	英語特論 I B	2・3・4		2				○						兼1 3年に1回開講
	英語特論 I C	2・3・4		2				○						兼1 3年に1回開講
	英語特論 I D	2・3・4		2				○						兼1 3年に1回開講
	英語特論 I E	2・3・4		2				○						兼1 3年に1回開講
英語特論 I F	2・3・4		2				○						兼1 3年に1回開講	
英語特論 II A	2・3・4		2				○						兼1 3年に1回開講	
英語特論 II B	2・3・4		2				○						兼1 3年に1回開講	
英語特論 II C	2・3・4		2				○						兼1 3年に1回開講	
英語特論 II D	2・3・4		2				○						兼1 3年に1回開講	
英語特論 II E	2・3・4		2				○						兼1 3年に1回開講	
英語特論 II F	2・3・4		2				○						兼1 3年に1回開講	
英語特論 III A	2・3・4		2				○						兼1 3年に1回開講	
英語特論 III B	2・3・4		2				○						兼1 3年に1回開講	

教 育 課 程 等 の 概 要

（看護福祉学部 看護学科）

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
一般 教育 科目	自由 科目 C 群	英語特論Ⅲ C	2・3・4	2			○								兼1	3年に1回開講
		英語特論Ⅲ D	2・3・4	2			○								兼1	3年に1回開講
		英語特論Ⅲ E	2・3・4	2				○							兼1	3年に1回開講
		英語特論Ⅲ F	2・3・4	2				○							兼1	3年に1回開講
		英語特論Ⅳ A	2・3・4	2				○							兼1	3年に1回開講
		英語特論Ⅳ B	2・3・4	2				○							兼1	3年に1回開講
		英語特論Ⅳ C	2・3・4	2				○							兼1	3年に1回開講
		英語特論Ⅳ D	2・3・4	2				○							兼1	3年に1回開講
		英語特論Ⅳ E	2・3・4	2				○							兼1	3年に1回開講
		英語特論Ⅳ F	2・3・4	2				○							兼1	3年に1回開講
		英語特論Ⅴ A	2・3・4	2				○							兼1	3年に1回開講
		英語特論Ⅴ B	2・3・4	2				○							兼1	3年に1回開講
		英語特論Ⅴ C	2・3・4	2				○							兼1	3年に1回開講
		英語特論Ⅴ D	2・3・4	2				○							兼1	3年に1回開講
		英語特論Ⅴ E	2・3・4	2				○							兼1	3年に1回開講
		英語特論Ⅴ F	2・3・4	2				○							兼1	3年に1回開講
		英語特論Ⅵ A	2・3・4	2				○							兼1	3年に1回開講
		英語特論Ⅵ B	2・3・4	2				○							兼1	3年に1回開講
		英語特論Ⅵ C	2・3・4	2				○							兼1	3年に1回開講
		英語特論Ⅵ D	2・3・4	2				○							兼1	3年に1回開講
		英語特論Ⅵ E	2・3・4	2				○							兼1	3年に1回開講
		英語特論Ⅵ F	2・3・4	2				○							兼1	3年に1回開講
		英語特論Ⅶ A	2・3・4	2				○							兼1	3年に1回開講
		英語特論Ⅶ B	2・3・4	2				○							兼1	3年に1回開講
		英語特論Ⅶ C	2・3・4	2				○							兼1	3年に1回開講
		英語特論Ⅶ D	2・3・4	2				○							兼1	3年に1回開講
		英語特論Ⅶ E	2・3・4	2				○							兼1	3年に1回開講
英語特論Ⅶ F	2・3・4	2				○							兼1	3年に1回開講		
小計(274科目)			0	548	0	-								兼92		
専 門 教 育 科 目	共通 関 連 科 目	保健と福祉の理解	1 後	2			○								兼2	オムニバス
		社会政策	2 前	2			○								兼2	オムニバス
		居住福祉論	2 前	2			○								兼1	
		福祉のまちづくり論	1 後	2			○					1				
		医療福祉工学	2 通	2			○								兼1	
		社会の基礎	2 前	2			○								兼1	
		解剖生理学 I	1 前	2			○				1					
	解剖生理学 II	1 後	2			○				1						
	臨床栄養学・生化学	2 前	1			○				1				兼1	オムニバス	
	臨床薬理学	2 後	2			○								兼1		
	微生物・免疫学	2 前	2			○				1				兼3		
	病態生理学	2 後	1			○								兼1		
	臨床病態学 I	1 後	1			○				1						
	臨床病態学 II	1 後	1			○				1						
臨床病態学 III	2 前	1			○				1							
臨床病態学 IV	2 後	1			○				1							
精神保健	1 前	1			○					1						
公衆衛生学	1 後	2			○				1							
疫学	2 後	2		2	○				1							
社 会 の 理 解	社会保障・社会福祉概説	1 前	2			○								兼1		
	保健医療福祉行政論	2 前	2			○				1						
	保健統計学	2 後	2			○				1						

教育課程等の概要															
(看護福祉学部 看護学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目 専門科目	看護学概論	1前	1			○			1						兼1 オムニバス オムニバス オムニバス オムニバス
	看護理論	1後	2			○			1		1				
	基礎看護技術	1前	2			○			1		2				
	臨床看護技術	1後	2			○			1		2				
	看護過程展開論	2前	1			○			1		2				
	フィジカルアセスメント	2前	1			○			2		1				
	健康生活支援演習	1前	1			○			1		1				
	基礎看護学実習Ⅰ	1後	1					○	1		2				
	基礎看護学実習Ⅱ	2前	2					○	2		2				
	看護倫理学	4後	1			○			1						
	母性看護学概論	2後	1			○			1						
	母性看護学	3前	2			○			1			2			
	母性看護学演習	3前	1				○		1			2			
	小児看護学概論	2後	1			○						1			
	小児看護学	3前	2			○						1			
	小児看護学演習	3前	1				○					1			
	成人・老年看護学概論	2前	1			○			1						
	急性看護学	2後	2			○				1		1			
	急性看護学演習	3前	1				○			1		1			
	セルフケア支援論	2後	2			○			1	1		1			
	セルフケア支援演習	3前	1				○		1	1		1			
	老年看護援助論	2前	2			○			1			2			
	老年看護援助演習	3前	1				○		1			2			
	緩和ケア論	2後	1			○			1						
	地域包括支援論	3前	1			○					2				
	地域・在宅看護学	2後	2			○					2				
	地域・在宅看護学演習	3前	2				○				2				
	精神看護学概論	2前	1			○			1						
	精神看護学	2後	2			○			1	1					
	精神看護学演習	3前	1				○		1	1					
	公衆衛生看護学概論	2前	2			○			1						
	保健指導論	2後	1			○			1						
	公衆衛生看護活動論Ⅰ	2後	1			○				1					
公衆衛生看護活動論Ⅱ	3前		2		○			1	1					兼1	
政策形成過程演習	3前		1			○		1	1					兼1	
公衆衛生看護技術Ⅰ(地域診断)	3後		1		○			1	1		1			兼1	
公衆衛生看護技術Ⅱ(個人・家族)	3後		1		○			1	1		1			兼1	
公衆衛生看護技術Ⅲ(集団・組織)	3後		1		○			1	1		1			兼1	
公衆衛生看護管理論	3前		1		○			1							
産業保健論	3前		1		○			1	1						
学校保健Ⅰ	2後		1		○									兼1	
学校保健Ⅱ	3前		2		○									兼1	
母性看護学実習	3後		2					○	1			2			
小児看護学実習	3後		2					○				1			
急性看護学実習	3後		2					○		1		1			
セルフケア支援実習	3後		2					○	1	1		1			
緩和ケア実習	3後		2					○	1				2		
老年看護援助実習	3後		2					○	1						
精神看護学実習	3後		2					○	1	1					
地域・在宅看護学実習	3後		2					○			2				
地域包括支援実習	3後		2					○			2				
公衆衛生看護活動展開実習	4前			3				○	1					兼1	
公衆衛生看護管理実習	4前			2				○	1	1				兼1	

教 育 課 程 等 の 概 要

（看護福祉学部 看護学科）

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
専門 教育 科目	専門 科目 看護 の 発 展	看護研究方法論	3前	1			○			2	1	1			
		卒業研究	4通	3				○		8	6	2	6		
		看護マネジメント学	4前	1			○					1			
		看護マネジメント実習	4前	2					○	2		1			
		看護理論発展セミナー	4前		1			○		1		2			
		がん看護発展セミナー	4前		1			○		1	1		1		
		生殖看護発展セミナー	4前		1			○		1			2		
		小児看護発展セミナー	4前		1			○					1		
		精神看護発展セミナー	4前		1			○		1	1				
		家族看護発展セミナー	4前		1			○			2				
		認知症看護発展セミナー	4前		1			○		1			2		
		看護教育学	4後		1			○		1					兼1
		災害看護学	4後		1			○							兼1
		看護情報学	4後		1			○		1					
小計(89科目)		—	96	38	0	—			9	7	2	7		兼16	
合計(393科目)		—	100	633	0	—			9	7	2	7		兼16	
学位又は称号		学士(看護学)			学位又は学科の分野			保健衛生学関係(看護学)							
卒業要件及び履修方法							授業期間等								
一般教育科目28単位以上、専門科目99単位以上(専門必修科目38単位、専門選択科目のA群・B群・C群からそれぞれ8単位以上)、一般科目および専門科目から2単位以上を修得し、合計で129単位以上修得すること。							1学年の学期区分			2学期					
							1学期の授業期間			15 週					
							1時限の授業時間			90 分					

教育課程等の概要																
(看護福祉学部 社会福祉学科)																
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手			
一般教育科目	I ゼミ	導入ゼミ	1前	1											兼27	
		教養ゼミ	1後		1				○							兼17
	II 外国語	英語 I	1通	1			○									兼5
		英語 II a	1・2		1		○									兼23
		英語 II b	1・2		1		○									
		中国語 I	1前		1+1		○									兼4 週2コマ連結授業
		中国語 II	1後		1+1		○									兼4 週2コマ連結授業
		中国語 III a	2・3・4		1		○									兼1
		中国語 III b	2・3・4		1		○									兼1
		中国語 IV a	2・3・4		1		○									兼1
		中国語 IV b	2・3・4		1		○									兼1
		韓国朝鮮語 I	1前		1+1		○									兼1 週2コマ連結授業
		韓国朝鮮語 II	1後		1+1		○									兼1 週2コマ連結授業
		ドイツ語 I	1前		1+1		○									兼1 週2コマ連結授業
		ドイツ語 II	1後		1+1		○									兼1 週2コマ連結授業
		フランス語 I	1前		1+1		○									兼1 週2コマ連結授業
		フランス語 II	1後		1+1		○									兼1 週2コマ連結授業
		ロシア語 I	1前		1+1		○									兼2 週2コマ連結授業
		ロシア語 II	1後		1+1		○									兼2 週2コマ連結授業
		外国語特講A	1・2・3		1		○									兼1 隔年開講
		外国語特講B	1・2・3		1		○									兼1 隔年開講
		外国語特講C	1・2・3		1		○									兼1 隔年開講
	外国語特講D	1・2・3		1		○									兼1 隔年開講	
	外国語特講E	1・2・3		1+1		○									兼1 3年に1回開講 週2コマ連結授業	
	外国語特講F	1・2・3		1+1		○									兼1 3年に1回開講 週2コマ連結授業	
	海外語学研修(英語)	2・3・4休		2		○									兼3 集中講義	
	海外語学研修(中国語)	2・3・4休		2		○									兼1 集中講義	
	III 体育	体育実技 I	1通	1					○							兼7
		体育実技 II	1通		1				○							兼6
		体育実技 III	1休		1				○							兼3 集中講義
	IV 情報	情報基礎演習	1前		1				○							兼6
		情報処理基礎演習	1・2・3・4		1				○							兼3
		統計処理演習	1・2・3・4		1				○							兼1
情報科学 I		1後	1				○								兼4	
情報科学 II		2・3・4		1			○								兼1	
V 語日本	基礎日本語 I	1前		1		○									兼1	
	基礎日本語 II	1後		1		○									兼1	
小計(37科目)			4	47	0			-							兼69	
一般教育科目	自由科目	I A群 歴史と思想	哲学	1・2・3		2		○								兼1
			倫理学	1・2・3		2		○								兼1
			宗教学	1・2・3		2		○								兼1
			歴史学	1・2・3		2		○								兼1
			東洋思想	1・2・3		2		○								兼1
			西洋思想	1・2・3		2		○								兼1 隔年開講
			日本史	1・2・3		2		○								兼1
			東洋史	1・2・3		2		○								兼1
			西洋史	1・2・3		2		○								兼1
			イスラーム史	1・2・3		2		○								兼1
			科学史	1・2・3		2		○								兼1

教育課程等の概要															
(看護福祉学部 社会福祉学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
一般教育科目 自由科目 A群	Ⅱ 表現と言語文化	言語学	1・2・3		2		○								兼1 隔年開講
	文学概論	1・2・3		2		○									兼1
	国文学史	1・2・3		2		○									兼1
	国文学	1・2・3		2		○									兼1
	美学	1・2・3		2		○									兼1
	美術史	1・2・3		2		○									兼1
	芸術学	1・2・3		2		○									兼1
	Ⅲ 現代の社会	社会学	1・2・3		2		○								兼1
	現代家族論	1・2・3		2		○									兼1 隔年開講
	政治学	1・2・3		2		○									兼1
	国際関係論	1・2・3		2		○									兼1 隔年開講
	国際政治学	1・2・3		2		○									兼1 隔年開講
	経済学	1・2・3		2		○									兼1
	法学	1・2・3休		2		○									兼1 集中講義
	日本国憲法	1・2・3		2		○									兼1
	現代人権論	1・2・3休		2		○									兼1 集中講義
	キャリア形成論	1・2・3		2		○									兼1
	観光学	1・2・3		2		○									兼1
	国際社会と法	1・2・3		2		○									兼1
	Ⅳ 世界の文化と社会	文化人類学	1・2・3		2		○								兼1
	地理学	1・2・3		2		○									兼1
	神話学	1・2・3		2		○									兼1
	比較文化論	1・2・3		2		○									兼13 オムニバス
	異文化理解	1・2・3		2		○									兼1
	東アジアの文化と社会	1・2・3		2		○									兼1
	東南アジアの文化と社会	1・2・3		2		○									兼1
	アフリカの文化と社会	1・2・3		2		○									兼1 隔年開講
	南米の社会と環境	1・2・3		2		○									兼1 隔年開講
	Ⅴ 福井と地域社会	日本の文化と社会	1・2・3		2		○								兼1
	福井の文化と社会	1・2・3		2		○									兼2 オムニバス
福井方言と標準語	1・2・3		2		○									兼1	
海と暮らし	1・2・3		2		○									兼15 オムニバス	
ボランティア論	1・2・3		2		○									兼1	
恐竜学	1・2・3		2		○									兼4 オムニバス	
福井を学ぶ	1・2・3		2		○									兼1	
地域社会とフィールドワークA	1・2・3休		2		○									兼1 集中講義 3年に1回開講	
地域社会とフィールドワークB	1・2・3休		2		○									兼1 集中講義 3年に1回開講	
Ⅴ 福井と地域社会	地域社会とフィールドワークC	1・2・3休		2		○								兼1 集中講義 3年に1回開講	
地域社会とフィールドワークD	1・2・3休		2		○									兼1 集中講義 3年に1回開講	
地域社会とフィールドワークE	1・2・3休		2		○									兼1 集中講義 3年に1回開講	
地域社会とフィールドワークF	1・2・3休		2		○									兼1 集中講義 3年に1回開講	
地域特講A	1・2・3		2		○									兼1 3年に1回開講	
地域特講B	1・2・3		2		○									兼1 3年に1回開講	
地域特講C	1・2・3		2		○									兼1 3年に1回開講	
地域特講D	1・2・3		2		○									兼1 3年に1回開講	
地域特講E	1・2・3		2		○									兼1 3年に1回開講	
地域特講F	1・2・3		2		○									兼1 3年に1回開講	

教 育 課 程 等 の 概 要															
(看護福祉学部 社会福祉学科)															
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
一般 教育 科目	VI 健康と 人間	健康科学	1・2・3休		2		○								兼1 集中講義
		スポーツ科学	1・2・3		2		○								兼2 オムニバス
		心理学	1・2・3		2		○								兼1
		行動科学	1・2・3		2		○								兼1
		人間関係論	1・2・3		2		○								兼1
		ジェンダー論	1・2・3		2		○								兼1
		福祉国家論	1・2・3		2		○								兼1
		認知科学	1・2・3		2		○								兼1 隔年開講
	VII 自然と 環境	環境論	1・2・3		2		○								兼1
		現代の科学	1・2・3		2		○								兼1
		宇宙科学	1・2・3		2		○								兼1
		地球科学	1・2・3休		2		○								兼1 集中講義
		生物科学	1・2・3		2		○								兼1
		技術の世界	1・2・3		2		○								兼1 隔年開講
		複雑系科学	1・2・3		2		○								兼1
		生態学	1・2・3		2		○								兼1 隔年開講
	コケの世界	1・2・3		2		○								兼1 隔年開講	
	VIII 情報と 数理	解析学	1・2・3		2		○								兼1
		代数学	1・2・3		2		○								兼1
		統計学基礎	1・2・3		2		○								兼1
		物理学 I	1・2・3		2		○								兼1
		物理学 II	1・2・3		2		○								兼1
		数学基礎	1・2・3		2		○								兼1
		メディア情報処理概論	1・2・3		2		○								兼1
	IX 教養特 講	教養特講A	1・2・3		2		○								兼1 隔年開講
		教養特講B	1・2・3		2		○								兼1 隔年開講
		教養特講C	1・2・3		2		○								兼1 隔年開講
		教養特講D	1・2・3		2		○								兼1 隔年開講
教養特講E		1・2・3		2		○								兼1 隔年開講	
教養特講F		1・2・3		2		○								兼1 隔年開講	
教養特講G		1・2・3		2		○								兼1 隔年開講	
教養特講H		1・2・3		2		○								兼1 隔年開講	
教養特講I		1・2・3		2		○								兼1 隔年開講	
教養特講J		1・2・3		2		○								兼1 隔年開講	
教養特講K		1・2・3		2		○								兼1 隔年開講	
教養特講L		1・2・3		2		○								兼1 隔年開講	

教育課程等の概要															
(看護福祉学部 社会福祉学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
一般教育科目	X 発展自由科目 A群	哲学特殊講義	2・3・4		2		○								兼1 3年に1回開講
		国文学特殊講義	2・3・4		2		○								兼1 3年に1回開講
		芸術学特殊講義	2・3・4		2		○								兼1 3年に1回開講
		社会学特殊講義	2・3・4		2		○								兼1 3年に1回開講
		政治学特殊講義	2・3・4		2		○								兼1 3年に1回開講
		文化人類学特殊講義	2・3・4		2		○								兼1 3年に1回開講
		人間関係論特殊講義	2・3・4		2		○								兼1 3年に1回開講
		歴史学特殊講義	2・3・4		2		○								兼1 3年に1回開講
		生態学特殊講義	2・3・4		2		○								兼1 3年に1回開講
		東洋学特殊講義	2・3・4		2		○								兼1 3年に1回開講
		民族学特殊講義	2・3・4		2		○								兼1 3年に1回開講
		地域研究特殊講義	2・3・4		2		○								兼1 3年に1回開講
		法学特殊講義	2・3・4		2		○								兼1 3年に1回開講
		教養の最前線A	2・3・4		2		○								兼1 3年に1回開講
		教養の最前線B	2・3・4		2		○								兼1 3年に1回開講
		教養の最前線C	2・3・4		2		○								兼1 3年に1回開講
		教養の最前線D	2・3・4		2		○								兼1 3年に1回開講
		教養の最前線E	2・3・4		2		○								兼1 3年に1回開講
	教養の最前線F	2・3・4		2		○								兼1 3年に1回開講	
	自由科目 B群	言語文化(中国)A	2・3・4		2		○								兼1 隔年開講
		言語文化(中国)B	2・3・4		2		○								兼1 隔年開講
		言語文化(中国)C	2・3・4		2		○								兼1 隔年開講
		言語文化(中国)D	2・3・4		2		○								兼1 隔年開講
		言語文化(韓国朝鮮)A	2・3・4		2		○								兼1 隔年開講
		言語文化(韓国朝鮮)B	2・3・4		2		○								兼1 隔年開講
		言語文化(ドイツ)A	2・3・4		2		○								兼1 隔年開講
		言語文化(ドイツ)B	2・3・4		2		○								兼1 隔年開講
		言語文化(フランス)A	2・3・4		2		○								兼1 隔年開講
		言語文化(フランス)B	2・3・4		2		○								兼1 隔年開講
		言語文化(ロシア)A	2・3・4		2		○								兼1 隔年開講
		言語文化(ロシア)B	2・3・4		2		○								兼1 隔年開講
		運動処方論	2後		2		○								兼1
		情報処理A	1・2・3・4		2		○								兼1
		情報処理B	1・2・3・4		2		○								兼1
		情報処理C	1・2・3・4		2		○								兼1
		情報処理D	1・2・3・4		2		○								兼1
		情報処理E	1・2・3・4		2		○								兼1
		プログラミングA	1・2・3・4		2		○								兼1 3年に1回開講
		プログラミングB	1・2・3・4		2		○								兼1 3年に1回開講
	プログラミングC	1・2・3・4		2		○								兼1 3年に1回開講	
	プログラミングD	1・2・3・4		2		○								兼1 3年に1回開講	
	プログラミングE	1・2・3・4		2		○								兼1 3年に1回開講	
	C群	学術ゼミ(哲学) A	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(哲学) B	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(哲学) C	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(哲学) D	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(哲学) E	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(哲学) F	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
学術ゼミ(東洋) A	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講		

教 育 課 程 等 の 概 要															
(看護福祉学部 社会福祉学科)															
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験・ 実習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
一般 教育 科目	自由 科目 C群	学術ゼミ(東洋) B	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(東洋) C	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(東洋) D	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(東洋) E	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(東洋) F	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(西洋史) A	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(西洋史) B	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(西洋史) C	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(西洋史) D	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(西洋史) E	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(西洋史) F	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(国文学) A	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(国文学) B	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(国文学) C	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(国文学) D	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(国文学) E	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(国文学) F	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(美学) A	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(美学) B	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(美学) C	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(美学) D	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(美学) E	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(美学) F	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(社会学) A	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(社会学) B	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(社会学) C	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(社会学) D	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(社会学) E	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(社会学) F	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(国際政治) A	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(国際政治) B	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(国際政治) C	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(国際政治) D	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(国際政治) E	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(国際政治) F	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(法学) A	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(法学) B	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(法学) C	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(法学) D	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(法学) E	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(法学) F	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(文化人類学) A	2・3・4		2			○							兼2 3年に1回開講
学術ゼミ(文化人類学) B	2・3・4		2			○							兼2 3年に1回開講		
学術ゼミ(文化人類学) C	2・3・4		2			○							兼2 3年に1回開講		
学術ゼミ(文化人類学) D	2・3・4		2			○							兼2 3年に1回開講		
学術ゼミ(文化人類学) E	2・3・4		2			○							兼2 3年に1回開講		
学術ゼミ(文化人類学) F	2・3・4		2			○							兼2 3年に1回開講		
学術ゼミ(発達心理) A	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講		
学術ゼミ(発達心理) B	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講		

教育課程等の概要															
(看護福祉学部 社会福祉学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
一般 教育 科目	自由 科目 C群	学術ゼミ(発達心理) C	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(発達心理) D	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(発達心理) E	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(発達心理) F	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(臨床心理) A	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(臨床心理) B	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(臨床心理) C	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(臨床心理) D	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(臨床心理) E	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(臨床心理) F	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(数理科学) A	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(数理科学) B	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(数理科学) C	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(数理科学) D	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(数理科学) E	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(数理科学) F	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(環境学) A	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(環境学) B	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(環境学) C	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(環境学) D	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(環境学) E	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(環境学) F	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(学習科学) A	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(学習科学) B	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(学習科学) C	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(学習科学) D	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(学習科学) E	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(学習科学) F	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(民族学) A	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(民族学) B	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(民族学) C	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(民俗学) D	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(民族学) E	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(民族学) F	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(地域研究) A	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(地域研究) B	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(地域研究) C	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(地域研究) D	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(地域研究) E	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		学術ゼミ(地域研究) F	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		英語特論 I A	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		英語特論 I B	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
英語特論 I C	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講		
英語特論 I D	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講		
英語特論 I E	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講		
英語特論 I F	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講		
英語特論 II A	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講		
英語特論 II B	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講		
英語特論 II C	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講		
英語特論 II D	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講		
英語特論 II E	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講		
英語特論 II F	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講		
英語特論 III A	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講		

教育課程等の概要															
(看護福祉学部 社会福祉学科)															
科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
一般教育科目	自由科目 C群	英語特論Ⅲ B	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		英語特論Ⅲ C	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		英語特論Ⅲ D	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		英語特論Ⅲ E	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		英語特論Ⅲ F	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		英語特論Ⅳ A	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		英語特論Ⅳ B	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		英語特論Ⅳ C	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		英語特論Ⅳ D	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		英語特論Ⅳ E	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		英語特論Ⅳ F	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		英語特論Ⅴ A	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		英語特論Ⅴ B	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		英語特論Ⅴ C	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		英語特論Ⅴ D	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		英語特論Ⅴ E	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		英語特論Ⅴ F	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		英語特論Ⅵ A	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		英語特論Ⅵ B	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		英語特論Ⅵ C	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		英語特論Ⅵ D	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		英語特論Ⅵ E	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		英語特論Ⅵ F	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		英語特論Ⅶ A	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		英語特論Ⅶ B	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		英語特論Ⅶ C	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
		英語特論Ⅶ D	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講
英語特論Ⅶ E	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講		
英語特論Ⅶ F	2・3・4		2			○							兼1 3年に1回開講		
小計(274科目)			0	548	0	-								兼92	
専門教育科目	共通関連科目 保健と福祉の理解	病気・人間・社会	1		2			○			1				
		社会政策	2		2			○			1				兼1
		居住福祉論	1		2			○							兼1
		福祉のまちづくり論	1		2			○					1		
		医療福祉工学	2		2			○							兼1
		社会調査の基礎	2		2			○			1				
	社会福祉学科専門科目	アンケート調査の設計と分析	2		2			○			1				
		社会福祉学概論Ⅰ	1	2				○				1			
		社会福祉学概論Ⅱ	1	2				○				1			
		社会保障論Ⅰ	2		2			○				1			
		社会保障論Ⅱ	2		2			○				1			
		児童家庭福祉論	2		2			○			1				
		高齢者福祉論	2		2			○			1				
		障害者福祉論	2		2			○				1			
		社会福祉発達史	2		2			○				1			
		地域福祉論Ⅰ	2		2			○			1				
		地域福祉論Ⅱ	2		2				○		1				
国際福祉論	2		2				○			1					
共生社会論	4	2					○			1					
社会的起業論	4		2				○			1					
スクールソーシャルワーク論	2		2				○			1					
ケア概論	2		2				○						兼1		
公的扶助論	3		2				○			1					
保健医療と福祉	3		2				○					1			

教 育 課 程 等 の 概 要															
(看護福祉学部 社会福祉学科)															
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	更生保護論	3		2		○									兼1
	所得とニーズの保障	2		2		○									兼1
	社会福祉管理運営論	3		2		○									兼1
	ソーシャルワーク論Ⅰ	1	2			○			1						
	ソーシャルワーク論Ⅱ	1	2			○			1						
	ソーシャルワーク論Ⅲ	2	4			○			2	1					
	ソーシャルワーク論Ⅳ	3		4		○			2						
	ソーシャルワーク演習Ⅰ	1		1			○		1			1			
	ソーシャルワーク演習Ⅱ	2		2			○		2	2		2			
	ソーシャルワーク演習Ⅲ	3		1			○		1	2					
	ソーシャルワーク演習Ⅳ	3		1			○		1	2					
	ソーシャルワーク実習	3		6				○	2	3		2			
	ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	2		1				○	2	3		2			
	ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	3		1				○	2	3		2			
	ソーシャルワーク特別講義A	4		1		○			1						
	ソーシャルワーク特別講義B	4		1		○			1	1		1			兼1
	ソーシャルワーク特別講義C	3		1		○			1	1		1			兼1
	ソーシャルワーク特別講義D	3		1		○			1	1		1			兼1
	社会理論と社会システム	1	2			○			1						
	社会問題論A	2		2		○			1						
	社会問題論B	2		2		○			1						
	法学概論	1		2		○									兼1
	行政法	2		2		○									兼1
	現代人権論	1		2		○									兼1
	権利擁護を支える法制度	3		2		○				1					
	民法（家族法）	2		2		○									兼1
	医学概論	1		2		○			1						
	発達心理学	2		2		○									兼1
	心理学概論	2		2		○									兼1
	精神医学	2		4		○			1						
	精神保健Ⅰ	2		2		○			1						
	精神保健Ⅱ	3		2		○			1						
	精神障害リハビリテーション論	3		2		○									兼1
	精神保健福祉の原理	2		4		○									兼1
	精神保健福祉制度論	3		2		○			1						
	精神保健ソーシャルワーク論	3		4		○						1			
	精神保健ソーシャルワーク演習Ⅰ	3		1			○		1			1			
	精神保健ソーシャルワーク演習Ⅱ	4		2			○		1			1			
	精神保健ソーシャルワーク実習指導Ⅰ	3		1				○	1	2		1			
	精神保健ソーシャルワーク実習指導Ⅱ	4		1				○	1	2		1			
精神保健ソーシャルワーク実習	4		5				○	1	2		1				
総合部門	現代福祉問題論	1	2			○			5	4		1			
	入門演習	1	1				○		1	1		2			
	社会福祉基礎演習	2	2				○		3	1		1			
	社会福祉演習	3	2				○		4	2		1			
	外書講読	2		1		○									兼1
	卒業研究	4	4						8	6		3			
小計(82科目)		—	27	120	0	—			9	7	2	7		兼16	
合計(393科目)		—	31	715	0	—			9	7	2	7		兼177	

教 育 課 程 等 の 概 要														
(看護福祉学部 社会福祉学科)														
科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
			必 修	選 択	自 由	講 義	演 習	実 験 ・ 実 習	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
学位又は称号		学士(社会福祉学)		学位又は学科の分野			社会福祉学関係							
卒業要件及び履修方法						授業期間等								
一般教育科目40単位以上、専門科目92単位以上(専門必修科目38単位、専門選択科目のA群・B群・C群からそれぞれ8単位以上)、一般科目および専門科目から4単位以上を修得し、合計で136単位以上修得すること。						1学年の学期区分			2学期					
						1学期の授業期間			15 週					
						1時限の授業時間			90 分					

授 業 科 目 の 概 要			
（福井県立大学大学院 健康生活科学研究科）			
科目	授業科目の名称	講義等の内容	備考
共通科目	健康生活科学特論	<p>人々の健康と生活に関わる複雑多岐にわたる課題について、医療人類学、医学、食品機能学、看護学の視点から多角的に学ぶ。さらに、健康上・生活上の課題を科学的・客観的視野に立って評価し、問題解決のための方策を立案・実行する能力と人々の「Well-being」の向上に貢献できる能力を取得する。</p> <p>（オムニバス方式／全15回）</p> <p>（7 道信 良子／6回） ヘルス・エスノグラフィの生命のとらえ方を学ぶとともに、人々の健康と生活に関わる課題について、医療人類学の視点から解決する研究法を検討する。</p> <p>（2 法木 左近／3回） 人々の健康と生活に関わる課題のうち医学的な側面から、感染症、生活習慣病やがんに関わる病態・診断・治療などを病理学的側面も含めて学ぶ。</p> <p>（8 笠井 恭子／3回） ロジャーズの看護理論を活用し、看護における人間性の科学（humanistic science of nursing）を通して、人々の健康・生活上の課題を解決する方策について学ぶ。</p> <p>（13 村上 茂／3回）健康と食品、健康と医薬品の視点から、人々の健康と生活について学ぶ。</p>	オムニバス方式
	研究倫理特論	<p>研究者として誠実で責任ある研究を推進していくために必要な研究倫理について次の点を学習する。</p> <p>（オムニバス方式／全15回）</p> <p>（1 米田 誠／9回） ・健全な研究を行うための基本的倫理事項について学ぶ。 ・ゲノム取り扱い・遺伝倫理・生殖医療の倫理について学ぶ。</p> <p>（8 笠井 恭子／3回） ・人を対象とする研究一般における臨床倫理について学ぶ。</p> <p>（② 有田 広美／3回） ・看護福祉研究における倫理について学ぶ。</p>	オムニバス方式
専門科目	健康基礎科学領域 健康科学特論	<p>人々の心身の健康と向上と新たな充実した生き方の創出に資するため、基礎医学、食品健康学、看護理工学、人間工学を中心とした視点からアプローチする方法について探究する。また、新たな知見と発見を見出す研究プロセスについて詳しく学び、多角的・多面的な研究方法を習得する。特に、量的研究の基礎となる統計学的手法についても学ぶ。</p> <p>（オムニバス方式／全15回）</p> <p>（10 水谷 哲也／3回） バイオマーカーの視点から人々の心身の健康と向上と新たな充実した生き方へのアプローチ方法を探究する。</p> <p>（13 村上 茂／3回） 食品機能学の視点から人々の心身の健康と向上と新たな充実した生き方へのアプローチ方法を探究する。</p> <p>（① 川村 みどり／5回） パーソナル・リカバリーの視点から精神障害者の新たな充実した生き方へのアプローチ方法を探究する。</p> <p>（④ 大島 千佳／2回） エビデンスに基づく看護ケアの視点から人々の心身の健康と向上と新たな充実した生き方へのアプローチ方法を探究する。</p> <p>（20 藤野 秀則／2回） ヒューマンインタフェースの視点から人々の心身の健康と向上と新たな充実した生き方へのアプローチ方法を探究する。</p>	オムニバス方式

専門科目	健康基礎科学領域	看護実践開発演習	<p>看護ケア・機器の開発に関連した文献について検討を行う。実際に超音波エコー、自律神経測定、バーチャルリアリティー（VR）等の各種機器を用いて、エビデンスに基づく看護実践の開発を目指す研究プロセスを学ぶ。具体的には、自らの興味関心と関連させながら実践的なテーマを選び、その事柄に関する論文の抄読、調査、発表、ディスカッションを通じて実践的な研究プロセスについて習得する。</p> <p>(オムニバス方式／全60回)</p> <p>(8 笠井 恭子・④ 大島 千佳／20回) (共同) 自律神経活動測定器・睡眠測定機器を用いた演習、それに基づく研究プロセスを学ぶとともに、論文の抄読、調査、発表、ディスカッションを行う。</p> <p>(⑨ 山内 豊明・③ 熊谷 あゆ美／40回) (共同) バーチャルリアリティー（VR）・多職種ハイブリッドシミュレーターを用いた高度看護実践演習および体圧分布測定器・超音波エコーを用いた創傷予防に関する演習を行い、それに基づく研究プロセスを学ぶとともに、論文の抄読、調査、発表、ディスカッションを行う。</p>	オムニバス方式・共同（一部） 演習120時間
		健康バイオマーカー演習	<p>健康と密接に関連するフレイル、運動、睡眠、食事、活性酸素などを評価するバイオマーカーについて、測定手技、評価法などの実践的アプローチを演習する。具体的には、自らの興味関心と関連させながら実践的なテーマを選び、その事柄に関する論文の抄読、調査、報告、ディスカッションを通じて実践的な研究プロセスについて習得する。テーマによっては、実験演習を実施して学習する。</p> <p>(オムニバス方式／全60回)</p> <p>(2 法木 左近／15回) 感染症、とくに真菌に関連したバイオマーカー実験を行い、それに基づくプロセスとともに、検査結果の解釈についても学ぶ。これらに関する論文の検索、抄読、ディスカッション、発表を行う。</p> <p>(1 米田 誠／15回) 老化や疾病に関わる酸化ストレスの影響に関して、活性酸素の測定や培養細胞を用いた実験による研究法を学ぶ。</p> <p>(10 水谷 哲也／15回) 胎盤に関連したバイオマーカー実験を行い、それに基づく研究プロセスを学ぶとともに、論文の抄読、調査、報告、ディスカッションを行う。</p> <p>(13 村上 茂／15回) 食品の機能分析に関する実験を行い、それに基づく研究プロセスを学ぶとともに、論文の抄読、調査、報告、ディスカッションを行う。</p>	オムニバス方式 実験120時間
	健康生活探究領域	健康福祉学特論	<p>健康福祉に関連する複雑多岐な課題について理論的・実践的側面から学ぶ。具体的には、社会福祉政策の歴史を学び、現状での高齢者福祉・障害者福祉、地域福祉の課題とそれに対する解決策について講究する。さらに、社会全体のWell-beingの向上に向けた総合的なアプローチ方法を習得する。</p> <p>(オムニバス方式／全15回)</p> <p>(7 道信 良子／6回) 医療人類学の視点から、複雑多岐な課題を抱える人々がともに暮らす地域共生社会の実現を目指したアプローチ方法を学ぶ。</p> <p>(9 池田 英二／3回) 精神医学の立場から、アルコール・ギャンブル・ゲーム・インターネットなど多様な依存症者の再チャレンジを支援するアプローチ方法を学ぶ。</p> <p>(5 平井 一芳／3回) 公衆衛生学の視点から健康福祉に関連する多様な課題、とくにフレイル・生活習慣病に対する社会全体のWell-beingの向上に向けた総合的なアプローチ方法を学ぶ。</p> <p>(12 久米 真代／3回) 認知症高齢者の課題や解決策における社会福祉政策の変遷、および医療と社会福祉のシームレス化により多職種が連携してアプローチする方法を学ぶ。</p>	オムニバス方式

健康 生活 探究 領域	専門 科目	保健医療福祉演習	<p>少子高齢化、ヘルスケアニーズの複雑化・多様化等が進むわが国の現状と課題を明らかにし、保健医療福祉の視点からこれらの課題を解決するための方法について検討する。具体的には、自らの興味関心と関連させながら幾つかのテーマを選び、その事柄に関する論文の抄読、調査、発表、ディスカッションを通じて解決の方法について習得する。</p> <p>(オムニバス方式／全60回)</p> <p>(7 道信 良子／15回) 医療人類学の立場から少子高齢化、ヘルスケアニーズの複雑化・多様化等が進むわが国の現状と課題を明らかにし、保健医療福祉の視点からこれらの課題を解決するための方法について検討する。</p> <p>(9 池田 英二／6回) 精神医学の立場からヘルスケアニーズの複雑化・多様化等が進むわが国の現状と課題を明らかにし、保健医療福祉の視点からこれらの課題を解決するための方法について検討する。</p> <p>(5 平井 一芳／6回) 公衆衛生の立場から少子高齢化、ヘルスケアニーズの複雑化・多様化等が進むわが国の現状と課題を明らかにし、保健医療福祉の視点からこれらの課題を解決するための方法について検討する。</p> <p>(12 久米 真代／6回) 老年看護学の立場から、少子高齢化、ヘルスケアニーズの複雑化・多様化等が進むわが国の現状と課題を明らかにし、保健医療福祉の視点からこれらの課題を解決するための方法について検討する。</p> <p>(② 有田 広美／6回) 慢性看護学の立場から少子高齢化、ヘルスケアニーズの複雑化・多様化等が進むわが国の現状と課題を明らかにし、保健医療福祉の視点からこれらの課題を解決するための方法について検討する。</p> <p>(⑥ 相馬 大祐／6回) 社会福祉学の立場から、少子高齢化、ヘルスケアニーズの複雑化・多様化等が進むわが国の現状と課題を明らかにし、保健医療福祉の視点からこれらの課題を解決するための方法について検討する。</p> <p>(7 道信 良子・⑥ 相馬 大祐／15回) (共同) 論文の抄読、調査、発表、ディスカッションを行う。</p>	オムニバス方式・共同 (一部)
		地域包括ケア演習	<p>地域・在宅看護、地域保健、地域福祉に関連する諸理論を統合しながら、わが国が推進している地域包括ケアシステムを構築するための方法について考察する。さらに、地域社会における諸問題に対する対処・解決方法についても検討する。具体的には、大学院生の興味関心と関連させながら幾つかのテーマを選び、その事柄に関する論文の抄読、発表、ディスカッションを通じて対処・解決の方法について検討する。</p> <p>(オムニバス方式／全60回)</p> <p>(⑤ 坂口 昌宏／8回) 地域福祉に関連する諸理論を用いて地域包括ケアシステムを構築するための方法について考察し、地域社会における諸問題に対する対処・解決方法についても検討する。</p> <p>(⑦ 小島 亜未／16回) 地域保健・地域看護に関連する諸理論を用いて地域包括ケアシステムを構築するための方法について考察し、地域社会における諸問題に対する対処・解決方法についても検討する。</p> <p>(⑧ 梅津 千香子／8回) 在宅看護に関連する諸理論を用いて地域包括ケアシステムを構築するための方法について考察し、地域社会における諸問題に対する対処・解決方法についても検討する。</p> <p>(⑤ 坂口 昌宏・⑦ 小島 亜未・⑧ 梅津 千香子／28回) (共同) 論文の抄読、発表、ディスカッションを行う。</p>	オムニバス方式・共同 (一部)

<p>特別研究科目</p>	<p>健康基礎科学領域</p>	<p>健康基礎科学特別研究</p>	<p>博士論文作成のための研究課題を決定し、研究全体の計画を立案し、研究計画書を作成し研究計画発表会で発表する。その後、倫理審査委員会へ書類を提出し、承認後計画に基づき実施する。研究結果をまとめ、博士論文に関する研究発表を行う。2年次に研究の進捗状況を発表する中間発表会、3年次に博士論文審査・発表を行う。自律的、先駆的、独創的な研究を推進する。</p> <p>(1 米田 誠) 活性酸素やバイオマーカーの測定を用いた老化・疾病の研究を行う。 <主な研究課題> (1) 老化・疾病・フレイルなどにおける活性酸素のかかわりを評価する (2) 甲状腺疾患における精神神経症状について解析する</p> <p>(2 法木 左近) 実験的手法を用いて、真菌感染症の診断方法について研究を行う。 <主な研究課題> (1) 白癬症の診断 (2) 検体採取のための新し機器の開発 (3) 患者自身による白癬症検査の問題点</p> <p>(13 村上 茂) 培養細胞や実験動物を用いて、食品や食品成分の健康増進・疾患予防作用およびその作用メカニズムの解明に関する研究を行う。 <主な研究課題> (1) 農産物や海藻など食素材の健康長寿との関連研究 (2) タウリンの生理・薬理作用の解明</p> <p>(8 笠井 恭子) 人々の自律神経活動や睡眠を整える看護ケアの開発に関する研究を行う。 <主な研究課題> (1) ストレスや不安の強い人々を対象としたリラクゼーション (2) 睡眠状態が不良な人々を対象とした睡眠改善ケア (3) 要介護高齢者の要介護度改善を目指したケア</p> <p>(10 水谷 哲也) 生化学・分子生物学的な手法を用いて、胎盤機能や産科疾患の診断方法について研究を行う。 <主な研究課題> (1) 胎盤の分化調節メカニズムの解明 (2) 産科疾患に対する新たなバイオマーカーの開発</p> <p>(① 川村 みどり) 質的研究の手法を用いて、パーソナル・リカバリーと精神障害リハビリテーションの相互作用に関する研究を行う。 <主な研究課題> (1) 精神障害者による看護ケアへの評価 (2) 精神障害リハビリテーションに関する看護ケアの開発 (3) 精神障害者の回復を支える多職種の連携</p> <p>(④ 大島 千佳) 看護ケア技術の開発に関する研究を行う。 <主な研究課題> (1) リンパ浮腫ケアのエビデンス探求 (2) 睡眠改善ケアのエビデンス探求 (3) 睡眠環境に関する研究</p> <p>(③ 熊谷 あゆ美) 看護理工学的アプローチを用いた創傷予防ケアに関する研究を行う <主な研究課題> (1) 創傷の発生と皮膚軟部組織に加わる外力や応力との関係に関する基礎研究 (2) 創傷予防のためのマットレスの開発研究</p>	
---------------	-----------------	-------------------	---	--

<p>特別 研究 科目</p>	<p>健康 生活 探究 領域</p>	<p>健康生活探究特別研究</p>	<p>博士論文作成のための研究課題を決定し、研究全体の計画を立案し、研究計画書を作成し研究計画発表会で発表する。その後、倫理審査委員会へ書類を提出し、承認後計画に基づき実施する。研究結果をまとめ、博士論文に関する研究発表を行う。2年次に研究の進捗状況を発表する中間発表会、3年次に博士論文審査・発表を行う。自律的、先駆的、独創的な研究を推進する。</p> <p>(7 道信 良子) 質的研究、混合研究や地域基盤型/参加型アクションリサーチなどの方法を用いて、重い病気や障害のある子どもの意思決定について研究を行う。 ＜主な研究課題＞ (1)小児がんの子どもの医療における協働意思決定 (2)障害のある子どもの生涯学習と社会参加 (3)高齢期の健康とウェルビーイングにプライマリヘルスクアが果たす役割</p> <p>(9 池田 英二) 主に観察研究の手法を用い、特にメンタルヘルスに影響を与える要因について研究を行う。 ＜主な研究課題＞ (1)青少年のインターネットアディクション予測因子 (2)メンタルヘルス不調による退職者の再就職予測因子 (3)大学生の発達障害傾向と修学上の問題の関連</p> <p>(5 平井 一芳) 社会と健康とのかかわりを集団の視点から探究し、地域・職域における健康増進に関する研究を行う。 ＜主な研究課題＞ (1)地域高齢者のフレイルとその関連要因（運動、栄養、社会活動など） (2)小学生の身体活動と健康・体力 (3)職域におけるメタボリックシンドローム対策</p> <p>(12 久米 真代) 入院中・入所中の認知症高齢者への認知症の疾患別、重症度別に合わせた看護ケアを開発する方法について研究を行う。 ＜主な研究課題＞ (1)認知症高齢者の入院・入所による環境変化への適応を促進する看護研究 (2)身体疾患の治療中の認知症高齢者の苦痛緩和に関する看護研究</p> <p>(② 有田 広美) 生活しながら治療を受けることで生じる複雑で解決困難な問題や課題の解決に向けた研究を行う。 ＜主な研究課題＞ (1)治療を受けるがんおよび慢性疾患患者家族に関する研究 (2)手術を受けた患者の睡眠、せん妄に関する研究</p> <p>(⑥ 相馬 大祐) 障害者の施設入所及び地域移行に関する研究を行う。 ＜主な研究課題＞ (1)障害者が施設入所に至る過程とその支援について (2)入所施設からの地域移行支援について</p>	
-------------------------	--------------------------------	-------------------	---	--

公立大学法人福井県立大学 設置認可等に関する組織の移行表

(研究科の設置)

令和4年度	入学定員	編入学定員	収容定員
福井県立大学			
経済学部			
経済学科	100	—	400
経営学科	100	—	400
生物資源学部			
生物資源学科	45	若干名	180
創造農学科	25	5(3年次)	110
海洋生物資源学部			
海洋生物資源学科	50	若干名	200
先端増養殖科学科	30	—	120
看護福祉学部			
看護学科	50	—	200
社会福祉学科	30	—	120
合計(学部)	430	5	1,730

令和5年度	入学定員	編入学定員	収容定員	変更の事由
福井県立大学				
経済学部				
経済学科	100	—	400	
経営学科	100	—	400	
生物資源学部				
生物資源学科	45	若干名	180	
創造農学科	25	5(3年次)	110	
海洋生物資源学部				
海洋生物資源学科	50	若干名	200	
先端増養殖科学科	30	—	120	
看護福祉学部				
看護学科	50	—	200	
社会福祉学科	30	—	120	
合計(学部)	430	5	1,730	

令和4年度	入学定員	編入学定員	収容定員
福井県立大学大学院			
経済・経営学研究科			
地域・国際経済政策専攻(M)	12	—	24
経営学専攻(M)	12	—	24
経済研究専攻(D)	4	—	12
生物資源学研究科			
生物資源学専攻(M)	12	—	24
生物資源学専攻(D)	4	—	12
海洋生物資源学専攻(M)	12	—	24
海洋生物資源学専攻(D)	4	—	12
看護福祉学研究科			
看護学専攻(M)	10	—	20
社会福祉学専攻(M)	6	—	12
合計(大学院)	76	—	164

令和5年度	入学定員	編入学定員	収容定員	変更の事由
福井県立大学大学院				
経済・経営学研究科				
地域・国際経済政策専攻(M)	12	—	24	
経営学専攻(M)	12	—	24	
経済研究専攻(D)	4	—	12	
生物資源学研究科				
生物資源学専攻(M)	12	—	24	
生物資源学専攻(D)	4	—	12	
海洋生物資源学専攻(M)	12	—	24	
海洋生物資源学専攻(D)	4	—	12	
看護福祉学研究科				
看護学専攻(M)	10	—	20	
社会福祉学専攻(M)	6	—	12	
健康生活科学研究科				研究科の設置(認可申請)
健康生活科学専攻(D)	3	—	9	
合計(大学院)	79	—	173	